

名刺ファイリング OCR

ユーザーズガイド

はじめに



名刺ファイリング OCR は、スキャナから読み取った名刺の文字をデータ化して認識し、データベースで管理するアプリケーションです。

本書は、名刺ファイリング OCR の概要、画面、および機能について説明しています。本書が、名刺ファイリング OCR を活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

本書を表示 / 印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。

2013 年	2 月	2 版
--------	-----	-----

商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Vista、Excel、Outlook、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Intel、Pentium、および Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。

Salesforce、Salesforce ロゴ、Salesforce CRM は米国その他の国における米セールス フォース・ドットコム (salesforce.com, inc.) の登録商標または商標です。

筆まめは、株式会社筆まめの登録商標です。

Yahoo! JAPAN (<http://www.yahoo.co.jp/>) は、ヤフー株式会社が運営するインターネット上の総合情報サイトです。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ScanSnap、ScanSnap ロゴ、および ScanSnap Manager は、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）

TEL: 044-540-4538

© PFU LIMITED 2012-2013

Multilingual OCR by I.R.I.S.(Image Recognition Integrated Systems)

1997 Copyright by I.R.I.S., All rights reserved

The Proximity / Merriam Webster Linguibase
 Copyright 1984 All rights reserved
 Proximity Technology Inc.
 Copyright 1984 All rights reserved
 Merriam Webster Inc.

The Proximity / Merriam Webster Linguibase
 Copyright 1984 All rights reserved
 Proximity Technology Inc.
 Copyright 1984 All rights reserved
 Williams Collins Sons & Co. Ltd.

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

マニュアルの種類

名刺ファイリング OCR をご使用の際には、以下のマニュアルを必要に応じてお読みください。

マニュアル	説明	参照方法
ScanSnap オペレーターガイド	ScanSnap の基本的な操作、ソフトウェアのインストール方法、読み取り方法、設定方法、および ScanSnap の取り扱い方について説明しています。	「スタート」メニュー→ 「すべてのプログラム」→ 「ScanSnap Manager」→ 「オペレーターガイド」を選択します。
名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド (本書)	名刺ファイリング OCR の概要、特長、画面、動作環境、機能について知りたいときにお読みください。	「スタート」メニュー→ 「すべてのプログラム」→ 「名刺ファイリング OCR」→ 「ユーザーズガイド」を選択します。
名刺ファイリング OCR ヘルプ	名刺ファイリング OCR の操作中（項目を入力するときなど）にわからないことがあったときにお読みください。 すべての操作手順、画面説明、メッセージについて説明しています。	ヘルプの起動方法については、「 付録 A ヘルプの起動方法 」(59 ページ) を参照してください。

■ 本書の読み方

本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

第1章 名刺ファイリング OCR をお使いになる 前に

名刺ファイリング OCR の概要、特長、動作環境、および起動 / 終了方法について説明しています。

第2章 操作画面

名刺ファイリング OCR の画面および各項目について説明しています。

第3章 操作概要

名刺ファイリング OCR の基本的な使い方について、起動から名刺の読み取り、データとして保存して利用するまでの一連のながれを説明しています。

第4章 機能一覧

名刺ファイリング OCR の機能について説明しています。

第5章 ユーザー権限

名刺ファイリング OCR を使用する場合のユーザー権限について説明しています。

付録 A ヘルプの起動方法

名刺ファイリング OCR のヘルプの起動方法を説明しています。

付録 B インストール / アンインストール

名刺ファイリング OCR のインストールおよびアンインストール方法について説明しています。

名刺ファイリング OCR の機能を理解していただくために、第1章から第5章までを順番にお読みください。

名刺ファイリング OCR の操作手順、画面説明、メッセージの対処方法については、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コンピューター」を選択します。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

本書では、Windows 7 の画面を例として説明します。

オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。表示された画面が、本書に掲載している画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。


本書での略記

本書では、以下の名称について省略して記載しています。

Windows 8	: Windows® 8 operating system 日本語版 Windows® 8 Pro operating system 日本語版 Windows® 8 Enterprise operating system 日本語版
Windows 7	: Windows® 7 Starter operating system 日本語版 Windows® 7 Home Premium operating system 日本語版 Windows® 7 Professional operating system 日本語版 Windows® 7 Enterprise operating system 日本語版 Windows® 7 Ultimate operating system 日本語版
Windows Vista	: Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版 Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版 Windows Vista® Business operating system 日本語版 Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版 Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版
Windows XP	: Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Windows® XP Professional operating system 日本語版
Windows 2000	: Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows	: Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、および Windows 2000
Microsoft Office	: Microsoft® Office
Excel	: Microsoft® Excel® 2010 Microsoft® Office Excel® 2007 Microsoft® Office Excel® 2003 Microsoft® Office Excel® 2002
Internet Explorer	: Windows® Internet Explorer® Microsoft® Internet Explorer®
Windows メール	: Microsoft® Windows® メール
Outlook	: Microsoft® Outlook® 2010 Microsoft® Office Outlook® 2007 Microsoft® Office Outlook® 2003 Microsoft® Office Outlook® 2002
InterConnect	: Microsoft® Office InterConnect
Outlook Express	: Microsoft® Outlook® Express
メモ帳	: Microsoft® メモ帳
ScanSnap	: パーソナル ドキュメント スキャナ ScanSnap シリーズ (*)

* : ScanSnap N1800 は未サポートです。

目次



はじめに.....	2
■ 本書の読み方	4
第 1 章 名刺ファイリング OCR をお使いになる前に	8
1.1 概要	9
1.2 特長	10
1.3 動作環境	11
1.4 起動と終了	13
■ 名刺ファイリング OCR	13
■ 名刺ファイリング OCR Viewer.....	15
第 2 章 操作画面.....	17
2.1 名刺ファイリング OCR	18
■ メインウィンドウ	18
■ リボン	22
2.2 名刺ファイリング OCR Viewer	35
第 3 章 操作概要.....	37
3.1 名刺ファイリング OCR の使い方	38
■ 操作のながれ.....	38
■ 名刺データの活用	43
3.2 データベース機能の使い方	45
■ 名刺データベースをバックアップ（コピー）する	45
■ 名刺データベースを別のコンピュータに移行する	46

第 4 章 機能一覧	50
4.1 基本機能	51
■ 名刺ファイリング OCR の起動 / 終了.....	51
■ 名刺の読み取り / 文字の認識.....	51
■ 名刺データの編集	52
■ 名刺データの検索	53
■ 名刺データの整理	53
4.2 活用機能	54
■ 名刺データの利用	54
■ 名刺データへのファイル添付	55
■ 名刺データの印刷	55
■ 動作環境 / オプションの設定.....	55
■ 画面表示の変更.....	56
■ オンラインアップデート.....	56
4.3 データベース機能	57
■ 名刺データベースの操作.....	57
第 5 章 ユーザー権限	58
付録 A ヘルプの起動方法	59
■ メインウィンドウからヘルプを起動する	59
■ スタートボタンからヘルプを起動する	60
■ 画面上の [ヘルプ] ボタンでヘルプを起動する.....	61
■ 名刺ファイリング OCR Viewer 画面から起動する	61
付録 B インストール / アンインストール	62
■ インストール.....	62
■ アンインストール	62
索引	63

第 1 章



名刺ファイリング OCR をお使いになる 前に

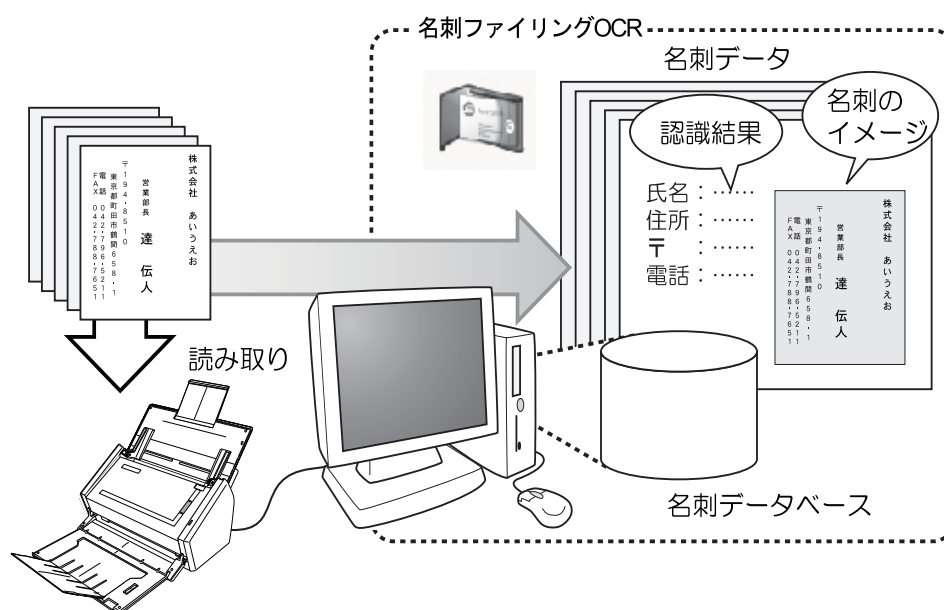
この章では、名刺ファイリング OCR の概要、特長、動作環境、および起動と終了方法について説明します。

1.1	概要	9
1.2	特長	10
1.3	動作環境	11
1.4	起動と終了	13

1.1 概要

名刺ファイリング OCR は、スキャナから読み取った名刺の文字をデータ化して認識 (OCR: Optical Character Recognition) し、データベースで管理するアプリケーションです。

これらのデータをデータベース (「名刺データベース」と呼ぶ) として管理し、様々な用途で活用できます。



名刺ファイリング OCR では、読み取った名刺のイメージデータを「名刺のイメージ」、文字を認識した結果の文字データを「認識結果」と呼んでいます。また、「名刺のイメージ」と「認識結果」を併せて「名刺データ」と呼んでいます。

名刺ファイリング OCR では、フォルダーを作って、名刺データを振り分けて管理できます。会社名ごとに名刺データを分類したり、用途単位で名刺データを管理したりする場合に便利です。

名刺データは、「名刺データベース」で管理します。名刺データベースは、使う人のニーズに応じて自由に個々に作成でき、複数のユーザーで共有できます。例えば、「課長用」と「部長用」のように分けて、名刺データベースを作成できます。

また、ほかのアプリケーションから、いつでもすばやく名刺データを検索できる「名刺ファイリング OCR Viewer」が用意されています。

1.2 特長

名刺ファイリング OCR には、以下の特長があります。

- 名刺の文字を認識して、文字データにする。
- 英語の名刺を認識する。
- 名刺の裏面に書いたメモも、表面の情報と併せて管理する。
- 名刺データを、ほかのアプリケーションや Palm (Palm 社製携帯情報端末) で利用する。
- 名刺データを、ハガキやラベルに印刷する。
- 同じ人から入手した、複数の名刺のデータを 1 か所にまとめる。
- 名刺に関連したファイルを名刺データに添付して、名刺とファイルを一括管理する。
- 名刺データの電子メールアドレスを送信先に設定して、メールソフトを起動する。
- 名刺上の文字 (名前や会社名など) をキーワードにして、必要な名刺データを検索する。
- Web と連携して、会社のホームページや会社周辺の地図などの情報を検索する。
- 名刺データベースの作成、表示、パスワードの設定、バックアップ、および修復を行う。
- リムーバブルメディア (USB メモリや CD-R、DVD-R、MO など) にバックアップを作成したり、ネットワークドライブに保存したりして共有する。
- 名刺データから QR コードを作成して、携帯電話の電話帳に名刺情報を登録したり、名刺上の QR コードの情報を認識したりする。
- 名刺データのアドレス情報と、ほかのアプリケーションが持つアドレス情報 (アドレス帳など) を連携させる。
- 名刺ファイリング OCR Viewer を利用して、ほかのアプリケーションのテキスト情報から名刺データを検索する。
- 名刺イメージが片面だけの名刺データを合成して、両面名刺を作成する。
- 名刺データをクラウド連携で指定した連携先に登録し、連携先が提供する Web サイトで名刺情報を参照する。

指定できる連携先は、以下のとおり。

- Salesforce

1.3 動作環境

名刺ファイリング OCR は、以下のシステム条件で動作します。

オペレーティングシステム (*1)(*2)	Windows 8 (*3)	Windows 7	Windows Vista	Windows XP Windows 2000
CPU (*4)	Intel® Pentium® 4 1.8GHz 以上 (推奨 : Intel® Core™2 Duo 2.2GHz 以上)			Intel® Pentium® III 600MHz 以上 (推奨 : Intel® Pentium® 4 1.8GHz 以上)
メモリ (*4)	32bit : 1G バイト以上 (推奨 : 4G バイト) 64bit : 2G バイト以上 (推奨 : 4G バイト)	32bit : 1G バイト以上 64bit : 2G バイト以上	512M バイト以上	256M バイト以上
ディスク容量	210M バイト以上 (*5)			
ディスプレイの解像度 (*6)	1024 × 768 ピクセル以上	800 × 600 ピクセル以上		
DVD-ROM ドライブ	インストール時に必要			
スキャナ	ScanSnap(*7)(*8)(*9) または TWAIN 規格 (スキャナなどの入力装置用 API) に準拠したスキャナ名刺を読み取り時に必要			

*1 : 最新の Service Pack を適用したオペレーティングシステムでの使用を推奨します。

*2 : サポートしているオペレーティングシステムについては、使用している ScanSnap のオペレーターガイドの「動作環境」を参照してください。

*3 : デスクトップアプリケーションとして動作します。

*4 : スキャナの推奨環境の方が高い場合は、スキャナの推奨環境以上での使用を推奨します。

*5 : 1 枚分の名刺データ (両面、カラー、スーパーファインの設定で読み取る場合) を格納するためには、500K バイトの空き容量が必要となります。

読み取る名刺の数に応じて必要となるディスク容量を見積もってください。

*6 : フォント サイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォント サイズを小さくして使用してください。

*7 : ScanSnap は、カラーイメージスキャナです。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

→ <http://scansnap.fujitsu.com/jp/>

*8 : ScanSnap N1800 は未サポートです。

*9 : WIA ドライバによる読み取りは未サポートです。

重要

上記の動作環境を満たしていないと、名刺ファイリング OCR が動作しないことがあります。

1.4 起動と終了

名刺ファイリング OCR の起動方法と終了方法について説明します。

■ 名刺ファイリング OCR

名刺ファイリング OCR の起動と終了の手順をそれぞれ以下に示します。

起動

起動手順は、以下のとおりです。

1. 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「名刺ファイリング OCR」→「名刺ファイリング OCR」を選択します。



⇒「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されます。

「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されないよう設定している場合は、「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されずに名刺ファイリング OCR が起動されます。

2. 表示するウィンドウレイアウトを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

⇒名刺ファイリング OCR が起動されます。

ヒント

- 名刺データベースにパスワードを設定している場合、起動時に「パスワード入力」画面が表示されます。パスワードを入力してから [OK] ボタンをクリックすると、名刺ファイリング OCR が起動されます。
- 以下の方法でも、名刺ファイリング OCR を起動できます。
 - インストール時に、名刺ファイリング OCR のショートカットを作成するように設定した場合は、デスクトップ上のショートカット () をダブルクリックします。
 - 名刺ファイリング OCR Viewer 画面の表示ツールバーにある [名刺ファイリング OCR を起動] ボタン () をクリックします。
- 起動時に、「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されないようにする場合、以下の設定方法があります。
 - 「ウィンドウレイアウトの選択」画面で、「次回から、この画面を表示しません」チェックボックスにチェックします。
 - 「名刺ファイリング OCR のオプション」画面の「基本設定」で、「起動時にウィンドウレイアウトの選択の画面を表示する」チェックボックスのチェックを外します。
- ウィンドウレイアウトは、名刺ファイリング OCR 操作中に、「ホーム」タブの [切り替え] ボタンをクリックしても変更できます。
- ユーザー学習辞書の移行を開始するメッセージが表示された場合は、メッセージに従って移行してください。

終了

終了手順は、以下のとおりです。

1. 「アプリケーションボタン」() をクリックします。



⇒ アプリケーションメニューが表示されます。

2. アプリケーションメニューの [終了] ボタンをクリックします。

⇒ 名刺ファイリング OCR が終了します。

ヒント

以下の方法でも、名刺ファイリング OCR を終了できます。

- タイトルバーの [閉じる] ボタン () をクリックします。
- 「アプリケーションボタン」() をダブルクリックします。
- キーボードの「Alt」キー + 「F4」キーを同時に押します。

■ 名刺ファイリング OCR Viewer

名刺ファイリング OCR Viewer の起動と終了の手順をそれぞれ以下に示します。



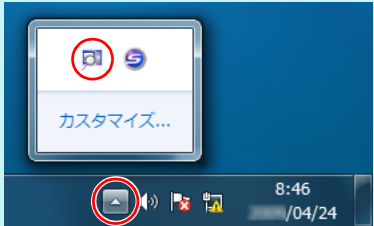
起動




起動手順は、以下のとおりです。

1. 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「名刺ファイリング OCR」→「名刺ファイリング OCR Viewer」を選択します。

⇒ 名刺ファイリング OCR Viewer が起動されます。

ヒント

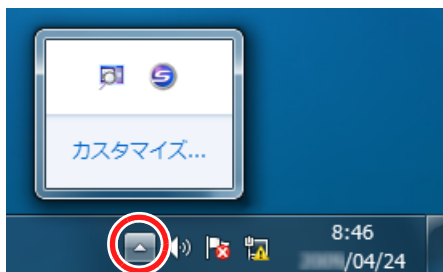
- 以下の方法でも、名刺ファイリング OCR Viewer を起動できます。
 1. タスク バーの  をクリックして表示されるメニューに、名刺ファイリング OCR Viewer アイコン () が表示されます。


(Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 の場合は、タスク バーに、名刺ファイリング OCR Viewer アイコン () が表示されます。)
 2. 以下のどちらかを行います。
 - 名刺ファイリング OCR Viewer アイコン () をダブルクリックします。
 - 名刺ファイリング OCR Viewer アイコン () を右クリックして、表示されるメニューから「Viewer の表示」を選択します。
- 名刺ファイリング OCR Viewer が起動している場合、ほかのアプリケーション（メモ帳など）上で、検索する文字列を選択し、キーボードの「Alt」キー + 「F3」キー（ショートカットキー）を押すと、選択した文字列で名刺データが検索されます。検索終了後、名刺ファイリング OCR Viewer が表示され、選択した文字列と一致する名刺データが表示されます。

終了

終了手順は、以下のとおりです。




1. タスクバーのをクリックして、メニューを表示します。



2. 名刺ファイリング OCR Viewer アイコン () を右クリックして表示されるメニューから「終了」を選択します。

⇒ 名刺ファイリング OCR Viewer が終了します。

ヒント

- 以下の方法でも、名刺ファイリング OCR Viewer を終了できます。
 - タイトルバーの [閉じる] ボタン () をクリックします。
 - タイトルバーの  部分をダブルクリックします。
- Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 の場合は、タスクバーに、名刺ファイリング OCR Viewer アイコン () が表示されます。
- 名刺ファイリング OCR Viewer を終了した場合、ほかのアプリケーション (メモ帳など) から名刺データを検索できません。

第 2 章



操作画面

この章では、名刺ファイリング OCR の画面および各項目について説明します。

ここで説明する画面および各項目のより詳しい説明や、操作中に表示される画面についての詳細は、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

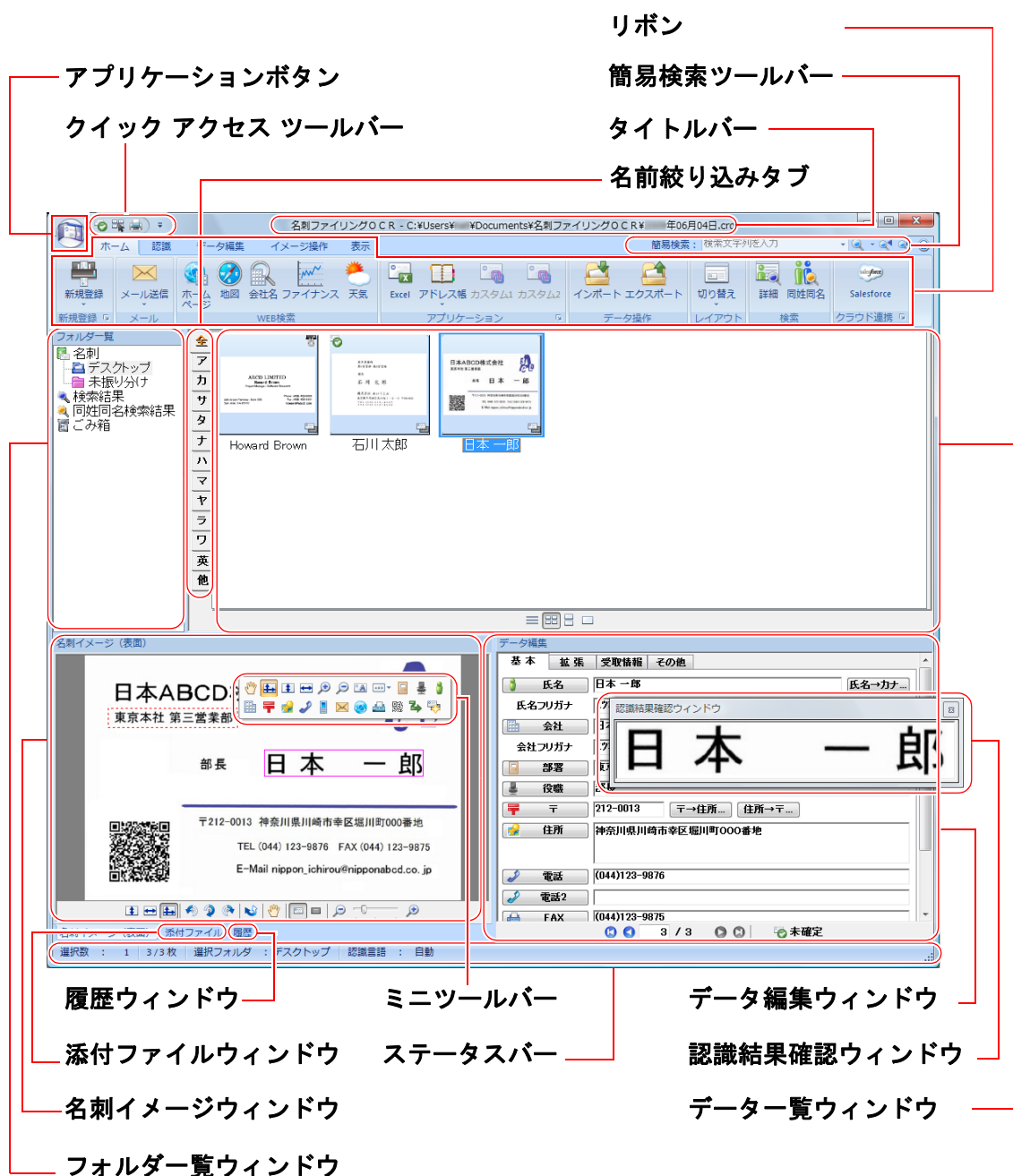
2.1	名刺ファイリング OCR	18
2.2	名刺ファイリング OCR Viewer	35

2.1 名刺ファイリング OCR

名刺ファイリング OCR のウィンドウは、読み取った名刺のデータを確認したり管理したりするためのいくつかのサブウィンドウから構成されるメインウィンドウと、名刺ファイリング OCR を操作するためのボタンを集めたメニュー（リボンといいます）で構成されています。

■ メインウィンドウ

メインウィンドウの構成については、以下のとおりです。



ヒント

リボンの下に表示されているサブウィンドウのうち、以下のウィンドウは、メインウィンドウから切り離してディスプレイ上の任意の位置に配置したり、非表示にしたりできます。

- フォルダ一覧ウィンドウ
- 名刺イメージウィンドウ
- データ編集ウィンドウ
- 添付ファイルウィンドウ
- 履歴ウィンドウ

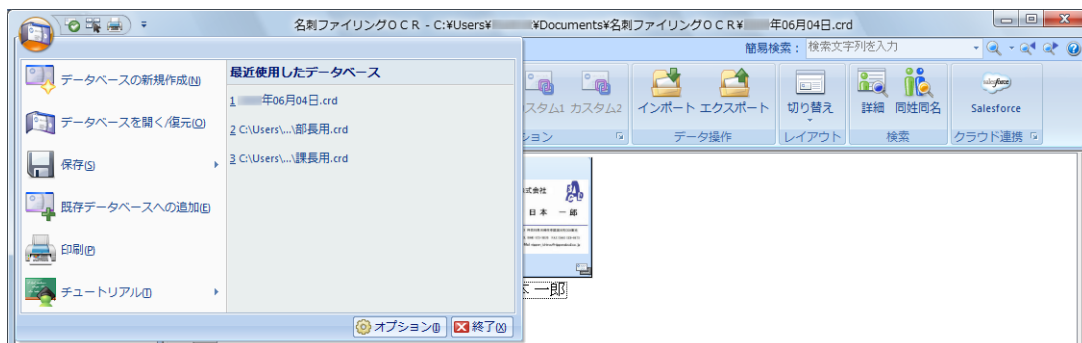
詳しくは、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

- アプリケーションボタン
アプリケーションメニューが表示されます。名刺データベースの操作、名刺データの印刷、チュートリアル参照、名刺ファイリング OCR のオプション設定、および終了などができます。また、最近使用したデータベースも表示されます。
- クイック アクセス ツールバー
任意のボタンを登録できるツールバーです。よく使うボタンを登録しておくことで便利です。また、リボンの上下どちらにでも配置できます。
- タイトルバー
現在表示している名刺データベースの保存先が表示されます。
- 簡易検索ツールバー
検索条件を指定して、現在表示している名刺データベースの名刺データを検索できます。
- リボン
名刺ファイリング OCR を操作するためのボタンを集めたメニューです。
- フォルダ一覧ウィンドウ
名刺データを管理するためのフォルダが表示されます。管理しやすいように新しいフォルダを作成できます。
- 名前絞り込みタブ
データ一覧ウィンドウに表示する名刺データを、氏名フリガナまたは会社名フリガナの頭文字で絞り込みます。
- データ一覧ウィンドウ
フォルダ一覧ウィンドウで選択しているフォルダ内の名刺データが、一覧で表示されます。
データ一覧ウィンドウの下方にある表示切替操作バーで、ウィンドウ内の名刺データの表示を「詳細表示」（リスト形式）または「縮小イメージ表示」に切り替えられます。
- 名刺イメージウィンドウ
データ一覧ウィンドウで選択している名刺データのイメージが表示されます。
データ編集ウィンドウで選択している認識結果項目はピンク色の枠で囲われます。
また、名刺イメージウィンドウの下方にあるイメージ操作バーで、名刺イメージの表示を変更できます。
- ミニツールバー
名刺イメージウィンドウ内で、矩形選択または右クリックをしたときに、マウスポインターの近くに表示されるツールバーです。

- 添付ファイルウィンドウ
「添付ファイル」タブをクリックすると、添付ファイルウィンドウが表示され、選択している名刺データに添付されたファイルが、アイコンで表示されます。添付ファイルの追加、削除、および名前の変更ができます。
- 履歴ウィンドウ
「履歴」タブをクリックすると、履歴ウィンドウが表示されます。結合した名刺データを選択している場合は、履歴ウィンドウに名刺データの過去のデータ（履歴）が表示されます
- データ編集ウィンドウ
データ一覧ウィンドウで選択している名刺データの情報が表示されます。名刺データが確定されていない場合は、情報を編集できます。
データ編集ウィンドウの下方にある表示データ指定操作バーで、編集する名刺データの切り替えや、名刺データの確定 / 未確定の切り替えができます。
- 認識結果確認ウィンドウ
データ編集ウィンドウで選択した項目に該当する名刺のイメージが表示されます。
- ステータスバー
以下の情報が表示されます。また、以下の項目は表示 / 非表示の切り替えができます。
 - 名刺データの選択数
 - フォルダー内の名刺データの総数と現在表示している名刺データの番号
 - 選択しているフォルダー名
(「名刺」フォルダーを選択している場合は、選択している名刺データの格納先フォルダー名が表示されます)
 - 選択している認識言語

アプリケーションボタン

アプリケーションメニューに表示される各項目と機能は、以下のとおりです。



メニュー項目	名称	機能
 データベースの新規作成(N)	データベースの新規作成	名刺ファイリング OCR の新しい名刺データベースを作成します。
 データベースを開く/復元(O)	データベースを開く / 復元	名刺ファイリング OCR の名刺データベースを開きます。
 保存(S)	保存	表示している名刺イメージに名前を付けて保存したり、開いている名刺データベースのバックアップを作成したりします。
 既存データベースへの追加(E)	既存データベースへの追加	表示している名刺データを、既存の名刺ファイリング OCR の名刺データベースに追加します。
 印刷(P)	印刷	名刺データを印刷します。
 チュートリアル(T)	チュートリアル	スキャナの設定における注意事項や、名刺ファイリング OCR の操作ガイドを表示します。
最近使用したデータベース	最近使用したデータベース	過去に名刺ファイリング OCR で開いた名刺データベースの履歴が表示されます。
 オプション(O)	[オプション] ボタン	「名刺ファイリング OCR のオプション」画面を表示して、名刺ファイリング OCR を使用するときの設定をします。
 終了(X)	[終了] ボタン	名刺ファイリング OCR を終了します。






■ リボン

名刺ファイリング OCR のメインウィンドウ上部には、様々な操作を実行するためのボタンが集められたリボンがあります。

リボンは、操作の種類ごとにタブに分類されており、タブをクリックして切り替えることで、限られた領域に多くのボタンを表示できるようになっています。また、それぞれのタブの中では、ボタンがいくつかのグループに分けて表示されます。

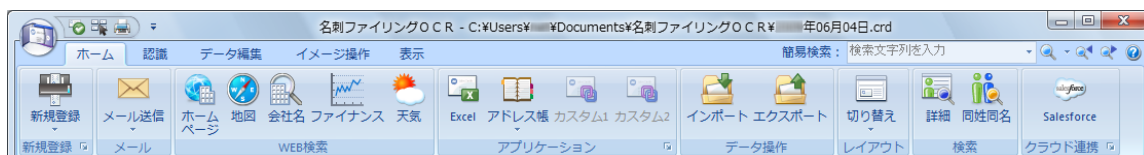
リボンを構成するタブと、それぞれのタブに含まれているボタンの機能を説明します。

ヒント



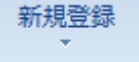
- リボンのボタンに  が表示されているときは、その  をクリックするとサブメニューが表示されます。サブメニューでは、そのボタンに割り当てる機能を選択します。
- 各タブのグループに  が表示されているときは、その  をクリックするとグループに関する設定ができます。例えば、「ホーム」タブの「新規登録」グループの  をクリックすると、「スキャナ動作環境」画面が表示され、スキャナでの読み取り条件を指定できます。

「ホーム」タブ



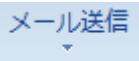
「ホーム」タブに登録されているボタンの名称と機能は、以下のとおりです。



•「新規登録」グループ

ボタン	名称	機能
	新規登録	 部分をクリックすると、スキャナから名刺を読み取ります。  部分をクリックすると、以下のメニューが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「スキャナ読み取り」メニュー 読み取り面（片面または両面）を切り替えられます。また、読み取りに使用するスキャナを選択できます。 • 「ファイル読み込み（片面）」メニュー 「ファイル読み込み（両面）」メニュー 任意のイメージデータファイルを名刺データとして追加します。 • 「データ作成」メニュー 名刺イメージがない名刺データを作成します。 • 「未振り分けフォルダ」メニュー 「開いているフォルダ」メニュー 「毎回選択」メニュー 読み取った名刺データや、作成した名刺データの登録先フォルダを上記のどれかに切り替えられます。

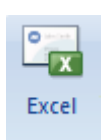

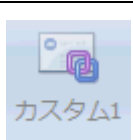
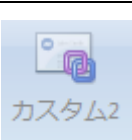
•「メール」グループ

ボタン	名称	機能
	メール送信	 の部分をクリックすると、選択している名刺データの電子メールアドレスをあて先にしたメール作成画面が表示されます。  をクリックすると、メール作成画面が表示される前に、あて先の種類（TO、CC、BCC）を指定できます。

•「WEB 検索」グループ

ボタン	名称	機能
 ホームページ	ホームページ	選択している名刺データのホームページを Web ブラウザで表示します。
 地図	地図	選択している名刺データの郵便番号を使って Yahoo! 地図から必要な情報を検索します。
 会社名	会社名	選択している名刺データの会社名を使って Yahoo! 検索をします。
 ファイナンス	ファイナンス	選択している名刺データの会社名を使って Yahoo! ファイナンスから必要な情報を検索します。
 天気	天気	選択している名刺データの郵便番号を使って Yahoo! 天気から必要な情報を検索します。

•「アプリケーション」グループ

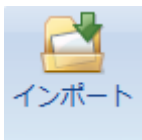
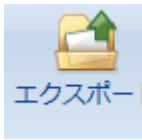
ボタン	名称	機能
 Excel	Excel	名刺データを、Excel 形式のファイル（拡張子 .xls）に出力します。
 アドレス帳	アドレス帳	名刺データを、Outlook Express(*)、Windows メール(*)、Outlook、または InterConnect のアドレス帳に出力したり、Outlook のデータとシンクロナイズしたりできます。
 カスタム1  カスタム2	カスタム 1 カスタム 2	ほかのアプリケーションと連携して、名刺データを、連携したアプリケーションのファイル形式に出力します。 アプリケーションと連携すると、アイコンの表示が変わるものもあります。

* : Windows 7 の場合は、利用できません。



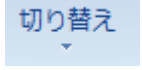
また、使用しているオペレーティングシステムによって、表示されるメニューが異なります。

- Windows Vista の場合 : 「Windows メール」と表示されます。
- Windows XP、Windows 2000 の場合 : 「Outlook Express」と表示されます。



•「データ操作」グループ

ボタン	名称	機能
 インポート	インポート	様々な形式のファイルを取り込み、名刺データに追加します。
 エクスポート	エクスポート	名刺データを、様々な形式のファイルに出力します。

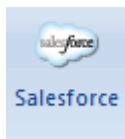
•「レイアウト」グループ

ボタン	名称	機能
 切り替え	切り替え	 部分をクリックすると、メインウィンドウのレイアウトを、「データ一覧域が広いレイアウト」または「データ編集域が広いレイアウト」に切り替えられます。「データ編集域が広いレイアウト」では、データ編集ウィンドウと名刺イメージウィンドウが大きく表示されます。 「データ編集域が広いレイアウト」を表示している場合は、[切り替え] ボタンがオレンジ色で表示されます。  部分をクリックすると、以下のメニューが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「保存」メニュー 現在表示しているウィンドウレイアウトを保存します。 • 「復元」メニュー 「保存」メニューで保存したウィンドウレイアウトに復元します。 • 「初期配置」メニュー 名刺ファイリング OCR インストール直後のウィンドウレイアウトに戻します。 デフォルトでは、「保存」メニューと「復元」メニューは選択できない設定になっています。選択可能にするには、「名刺ファイリング OCR のオプション」画面の「基本設定」で、「ウィンドウレイアウトをカスタマイズする」チェックボックスにチェックします。

•「検索」グループ

ボタン	名称	機能
	詳細	「名刺情報検索」画面が表示されます。詳細な検索条件を入力し、名刺データを検索します。
	同姓同名	「同姓同名検索」画面を表示されます。検索対象フォルダーを設定し、同姓同名の名刺データを検索します。

•「クラウド連携」グループ

ボタン	名称	機能
	Salesforce	名刺データを、Salesforce へ登録します(*)。

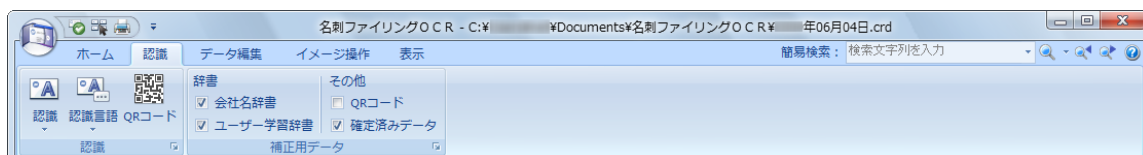
*: .NET Framework 3.0 がインストールされている場合に表示されます。

.NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5 (SP1 以降) にも含まれています。オペレーティングシステムの最新のアップデートを行って、.NET Framework 3.5 (SP1 以降) を使用することを推奨します。






.NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため、.NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。

「認識」タブ

「認識」タブに登録されているボタンの名称と機能は、以下のとおりです。



•「認識」グループ

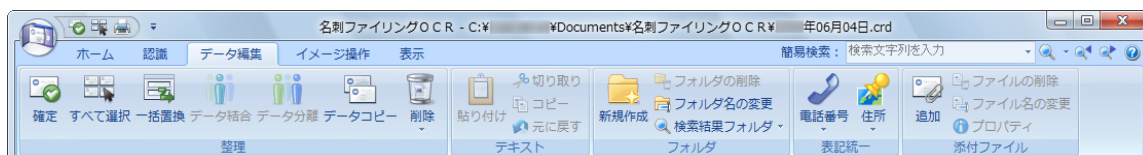
ボタン	名称	機能
	認識	 部分をクリックすると、認識を実行します。  部分をクリックすると、選択している名刺データだけを認識するか、未認識の名刺データを一括で認識するかを切り替えられます。
	認識言語	認識に使用する言語を切り替えます。 クリックすると、以下のメニューが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 「自動」メニュー 認識言語を自動で日本語と英語に切り替えます。 • 「日本語」メニュー 認識言語を日本語に設定します。 • 「英語」メニュー 認識言語を英語に設定します。
	QR コード	名刺イメージ上の QR コードの認識を実行します。

•「補正用データ」グループ






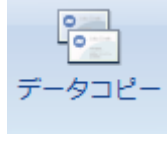

ボタン	名称	機能
<input checked="" type="checkbox"/> 会社名辞書	会社名辞書	認識時に、会社名辞書を使用して認識結果を補正します。
<input checked="" type="checkbox"/> ユーザー学習辞書	ユーザー学習辞書	認識時に、ユーザー学習辞書を使用して認識結果を補正します。
<input type="checkbox"/> QRコード	QR コード	認識時に、名刺イメージ上の QR コードからデータを読み取り、認識結果として使用します。
<input checked="" type="checkbox"/> 確定済みデータ	確定済みデータ	認識時に、確定済みのほかの名刺データを使用して、認識結果を補正します。

「データ編集」タブ

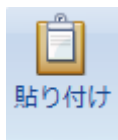
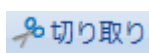
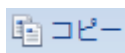

「データ編集」タブに登録されているボタンの名称と機能は、以下のとおりです。



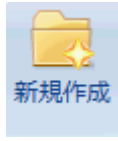
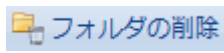
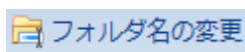
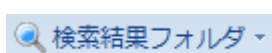
・「整理」グループ

ボタン	名称	機能
	確定	選択している名刺データの確定 / 未確定を切り替えられます。
	すべて選択	データ一覧ウィンドウに表示しているすべての名刺データを選択します。
	一括置換	選択している名刺データの認識結果のうち、指定した項目を一括して置換します。
	データ結合	選択している複数の名刺データを結合して1つの名刺データにします。
	データ分離	結合している名刺データを分離します。
	データコピー	選択している名刺データをコピーします。
	削除	<p>選択している名刺データ（名刺イメージおよび添付ファイルを含む）や認識結果を削除します。クリックすると、以下のメニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「認識結果のクリア」メニュー 選択した名刺データの認識結果が削除されます。 「データの削除」メニュー 選択した名刺データが削除されます。 「イメージの削除」メニュー 選択した名刺データの名刺イメージが削除されます。削除する名刺イメージは、「両面」、「表面」、または「裏面」のどれかを選択できます。



•「テキスト」グループ

ボタン	名称	機能
 貼り付け	貼り付け	コピーしたテキストを、データ編集ウィンドウの入力域に貼り付けます。
 切り取り	切り取り	データ編集ウィンドウの入力域のテキストを切り取ります。
 コピー	コピー	データ編集ウィンドウの入力域のテキストをコピーします。
 元に戻す	元に戻す	データ編集ウィンドウのテキストで直前に行った編集操作を取り消します。





•「フォルダ」グループ

ボタン	名称	機能
 新規作成	新規作成	新しいフォルダーを作成します。
 フォルダの削除	フォルダの削除	フォルダーを削除します。
 フォルダ名の変更	フォルダ名の変更	フォルダーの名前を変更します。
 検索結果フォルダ	検索結果フォルダ	名刺データを「検索結果」フォルダーに追加したり、「検索結果」フォルダーから削除したりできます。

•「表記統一」グループ

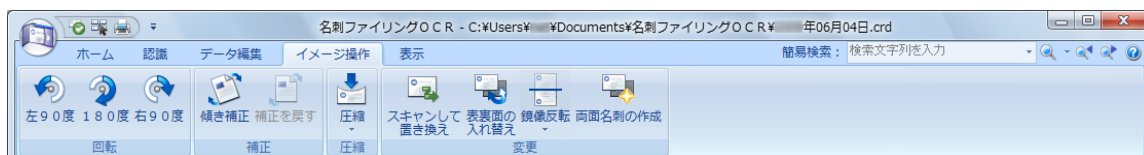
ボタン	名称	機能
 電話番号	電話番号	名刺データの電話番号の表記方法（ハイフンつなぎ、カッコ+ハイフン）を指定し、一括して変更します。
 住所	住所	名刺データの住所の表記方法（数字、数字+ハイフン、郵便番号を7桁に統一）を指定し、一括して変更します。

•「添付ファイル」グループ



ボタン	名称	機能
 追加	追加	ファイルを指定して、選択している名刺データに添付します。
 ファイルの削除	ファイルの削除	名刺データの添付ファイルを削除します。
 ファイル名の変更	ファイルの変更	名刺データの添付ファイルの名前を変更します。
 プロパティ	プロパティ	名刺データの添付ファイルのプロパティを表示します。

「イメージ操作」タブ



「イメージ操作」タブに登録されているボタンの名称と機能は、以下のとおりです。




•「回転」グループ

ボタン	名称	機能
	左 90 度	名刺イメージを左に 90 度回転します。
	180 度	名刺イメージを 180 度回転します。
	右 90 度	名刺イメージを右に 90 度回転します。




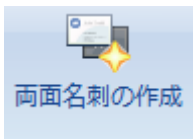
•「補正」グループ

ボタン	名称	機能
	傾き補正	傾いている名刺イメージを正しい向きに補正します。
	補正を戻す	傾きを補正した名刺イメージを、補正前の向きに戻します。

•「圧縮」グループ

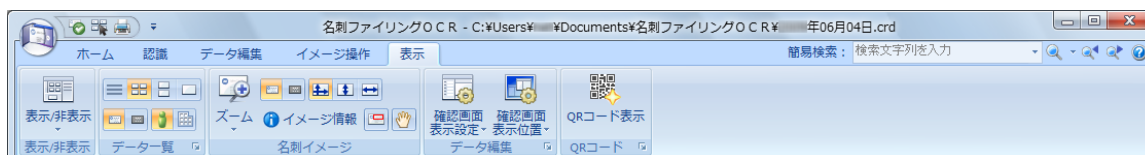
ボタン	名称	機能
	圧縮	名刺イメージを圧縮します。 圧縮する面と、圧縮方法を選択できます。

•「変更」グループ


ボタン	名称	機能
 スキャンして 置き換え	スキャンして 置き換え	名刺イメージウィンドウに表示されている名刺イメージを、別の名刺を読み取って置き換えます。
 表裏面の 入れ替え	表裏面の入れ 替え	選択している名刺イメージの表面と裏面を入れ替えます。
 鏡像反転	鏡像反転	選択している名刺イメージを、水平方向または垂直方向に反転させます。
 両面名刺の 作成	両面名刺の 作成	名刺イメージが片面だけの名刺データを合成して、両面名刺を作成します。

「表示」タブ









「表示」タブに登録されているボタンの名称と機能は、以下のとおりです。












•「表示 / 非表示」グループ

ボタン	名称	機能
	表示 / 非表示	以下のウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • フォルダ一覧 • 名刺イメージ • データ編集 • 添付ファイル • 履歴 • 認識結果確認



•「データ一覧」グループ

ボタン	名称	機能
	詳細表示	データ一覧ウィンドウの名刺データを詳細表示にします。
	小サイズ	データ一覧ウィンドウの名刺データの縮小イメージを小サイズにします。
	中サイズ	データ一覧ウィンドウの名刺データの縮小イメージを中サイズにします。
	大サイズ	データ一覧ウィンドウの名刺データの縮小イメージを大サイズにします。
	表面	データ一覧ウィンドウの縮小イメージ表示を表面にします。
	裏面	データ一覧ウィンドウの縮小イメージ表示を裏面にします。
	氏名絞り込み	名前絞り込みタブの絞り込み方法を氏名フリガナに設定します。
	会社名絞り込み	名前絞り込みタブの絞り込み方法を会社名フリガナに設定します。


•「名刺イメージ」グループ

ボタン	名称	機能
 ズーム	ズーム	名刺イメージウィンドウに表示される名刺イメージの表示倍率を変更します。 「6%」、「12%」、「25%」、「50%」、「75%」、「100%」、または「200%」をクリックすると、指定した倍率で名刺イメージを表示します。
	表面	名刺イメージウィンドウに名刺イメージの表面を表示します。
	裏面	名刺イメージウィンドウに名刺イメージの裏面を表示します。
	領域に合わせる	名刺イメージを名刺イメージウィンドウの高さと幅に合わせて表示します。
	高さに合わせて	名刺イメージを名刺イメージウィンドウの高さに合わせて表示します。
	幅に合わせて	名刺イメージを名刺イメージウィンドウの幅に合わせて表示します。
 イメージ情報	イメージ情報	選択している名刺データの、名刺イメージの情報を表示します。
	項目矩形枠の表示	名刺イメージウィンドウのイメージ上に表示される項目矩形枠の表示 / 非表示を切り替えます。
	マウススクロールモード	名刺イメージウィンドウのイメージのマウスによるスクロールを有効または無効にします。

•「データ編集」グループ

ボタン	名称	機能
 確認画面表示設定	確認画面表示設定	認識結果確認ウィンドウの表示方法を指定します。
 確認画面表示位置	確認画面表示位置	認識結果確認ウィンドウの表示位置を指定します。

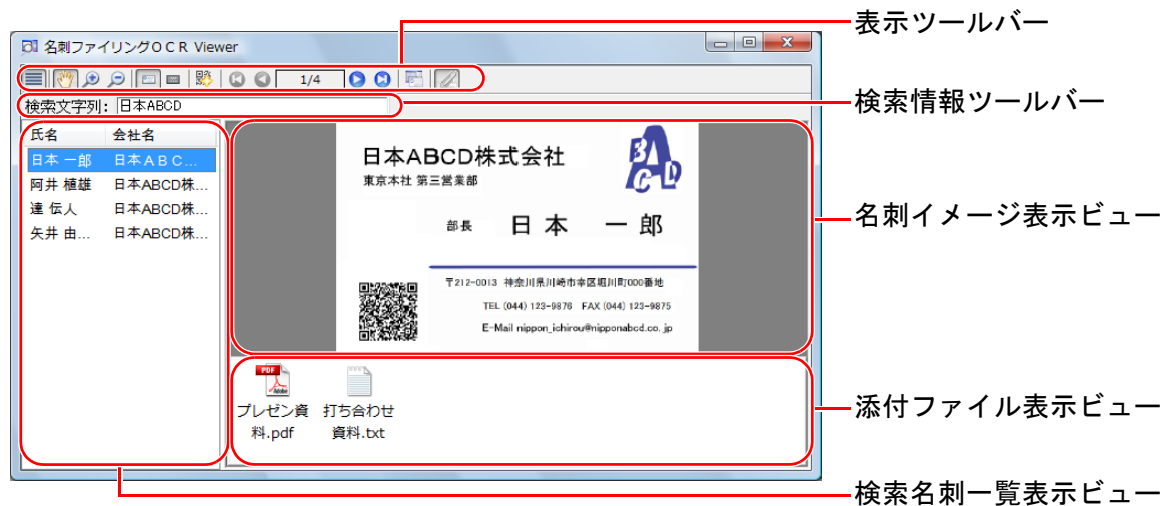
•「QRコード」グループ

ボタン	名称	機能
 QRコード表示	QRコード表示	名刺データの認識結果をQRコードに変換して表示します。

2.2 名刺ファイリング OCR Viewer

名刺ファイリング OCR Viewer 画面は、ほかのアプリケーションから、いつでも、すばやく名刺データを検索するための検索情報ツールバーと、名刺ファイリング OCR Viewer を操作するためのメニューで構成されています。









名刺ファイリング OCR Viewer 画面の構成については、以下のとおりです。










- 表示ツールバー

名刺イメージ表示ビューの名刺イメージを操作できます。

表示ツールバーの構成は、以下のとおりです。

項目	名称	機能
	一覧表示	検索名刺一覧表示ビューの表示 / 非表示を切り替えます。
	手のひらツール	名刺のイメージを拡大表示しているときに、マウスでイメージをドラッグしてスクロールします。
	ズームインツール	名刺イメージ表示ビュー上でクリックした箇所を基点として名刺イメージを拡大表示します。 このボタンをクリックすると、カーソル形状は、  になります。
	ズームアウトツール	名刺イメージ表示ビュー上でクリックした箇所を基点として名刺イメージを縮小表示します。 このボタンをクリックすると、カーソル形状は、  になります。
	表面イメージ	名刺イメージの表面を表示します。
	裏面イメージ	名刺イメージの裏面を表示します。裏面の名刺イメージがある場合、有効になります。

項目	名称	機能
	QRコード表示	名刺データのQRコードを作成します。
	先頭のデータ	検索名刺一覧表示ビューに表示されているリストの、最初の名刺データを表示します。
	前のデータ	1つ前の名刺イメージを表示します。
<input type="text" value="1/2"/>	データ番号表示域	「選択した名刺データの位置 / 検索で見つかった名刺データ数」を表示します。
	次のデータ	1つあとの名刺イメージを表示します。
	最後のデータ	検索名刺一覧表示ビューに表示されているリストの、最後の名刺データを表示します。
	名刺ファイリング OCR を起動	名刺ファイリング OCR を起動します。名刺データを選択している場合は、選択している名刺データが名刺ファイリング OCR で表示されます。
	添付ファイルの表示	添付ファイル表示ビューの表示 / 非表示を切り替えます。

- 検索情報ツールバー


検索する名刺データの「氏名」、「氏名フリガナ」、「会社名」、または「会社名フリガナ」で使用されている文字列を入力します。入力後、キーボードの「Enter」キーを押して検索します。

- 検索名刺一覧表示ビュー

検索情報ツールバーで検索した結果が1件でもあると、見つかった名刺データの一覧が表示されます。

氏名 をクリックすると、氏名順で名刺データを並べ替えられます。

会社名 をクリックすると、会社名順で名刺データを並べ替えられ

ます。表示ツールバーの  をクリックすると、検索名刺一覧表示ビューの表示 / 非表示を切り替えられます。


- 名刺イメージ表示ビュー

検索条件と一致した、名刺データの名刺イメージが表示されます。また、検索名刺一覧表示ビューで選択した名刺データの名刺イメージが表示されます。

検索条件と一致する名刺データが存在しない場合、「No Image」と表示されます。

- 添付ファイル表示ビュー

表示している名刺データに添付ファイルがある場合、添付されているファイルがアイコン表示されます。

表示ツールバーの  をクリックすると、添付ファイル表示ビューの表示 / 非表示を切り替えられます。

第 3 章



操作概要

この章では、名刺ファイリング OCR の起動から名刺の読み取り、保存して管理するまでの基本的な一連のながれと、名刺データの活用、名刺データベースの機能について説明します。

この章に記載されているながれに沿って操作すると、名刺ファイリング OCR の基本的な機能が理解できます。

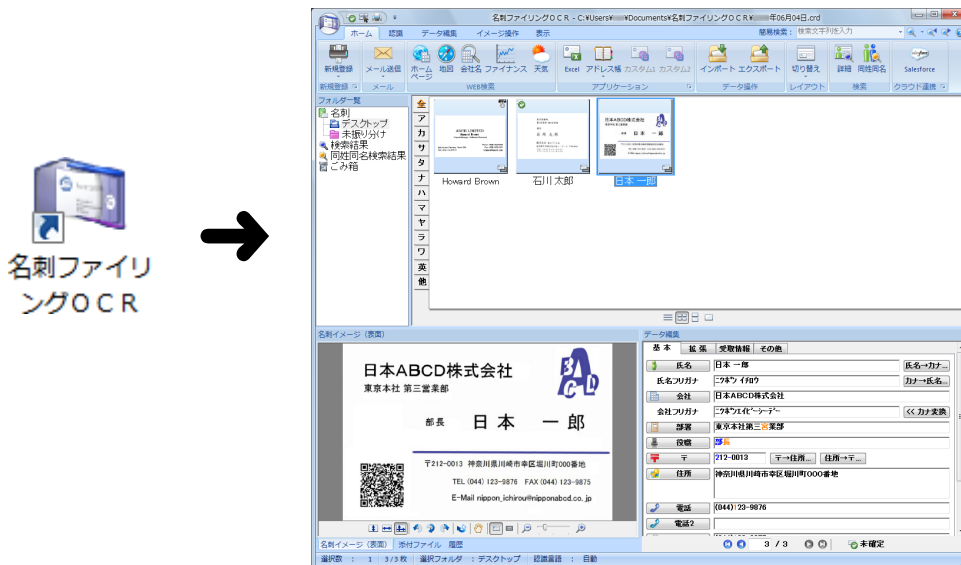
3.1	名刺ファイリング OCR の使い方.....	38
3.2	データベース機能の使い方.....	45

3.1 名刺ファイリング OCR の使い方

■ 操作のながれ

1. 名刺ファイリング OCR を起動します。

デスクトップにある「名刺ファイリング OCR」アイコンをダブルクリックすると、名刺ファイリング OCR が起動されます。

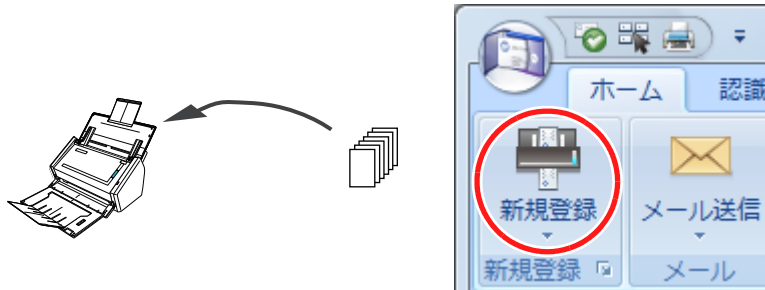


ヒント

- 起動時、「ウィンドウレイアウトの選択」画面を表示させるよう設定している場合は、デスクトップの「名刺ファイリング OCR」アイコンをクリックすると、「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されます。表示するウィンドウレイアウトを選択してから [OK] ボタンをクリックすると、名刺ファイリング OCR が起動されます。
- 初回起動時、名刺データベースと名刺データベースを格納した「名刺ファイリング OCR」フォルダーが、デフォルトでは以下のフォルダー内に自動で作成されます。
 - Windows 7、Windows Vista の場合：
ドライブ名 (C など) : ¥ Users ¥ (ユーザー名) ¥ Documents
 - Windows XP、Windows 2000 の場合：
ドライブ名 (C など) : ¥ Documents and Settings ¥ (ユーザー名) ¥ My Documents
- 初回起動時に作成される名刺データベース名は、起動した日付になります。また、名刺データベースと同時に名刺データを管理するフォルダーも作成されます。この名刺データ管理フォルダーは、名刺データベースと同一のフォルダーに格納されます。
 - 初回起動日が「2012年1月23日」の場合
「2012年01月23日.crd」(名刺データベース)
「2012年01月23日~F.crd」(名刺データ管理フォルダー)
- 2回目以降の起動時は、前回最後に使用した名刺データベースが開かれます。

2. 名刺をスキャナで読み取ります。

「ホーム」タブの [新規登録] ボタンをクリックすると、名刺の読み取りが開始されます。

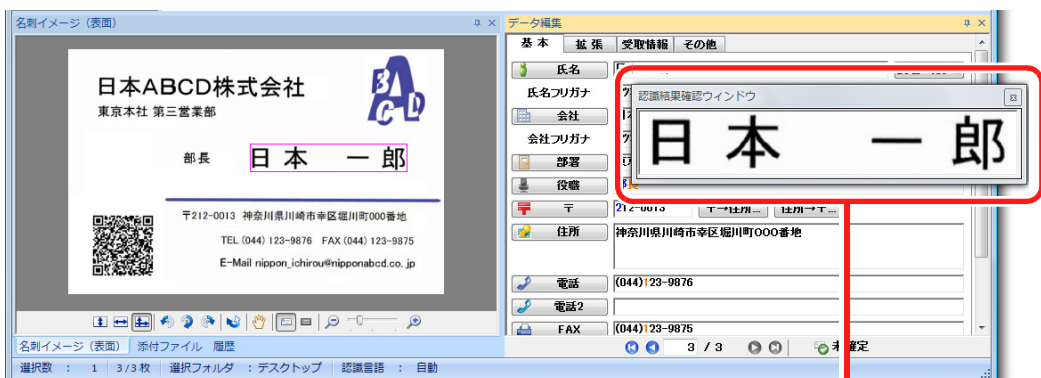


読み取りが終わると、名刺に印刷されている名前や住所などの文字情報が自動的に文字として認識され、データ編集ウィンドウに表示されます。

読み取った名刺のイメージデータが名刺イメージウィンドウに表示されます。

3. 名刺データを確認します。

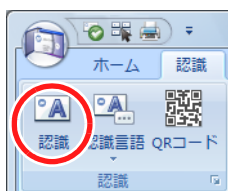
名刺イメージの表裏が間違っていないかや、認識結果確認ウィンドウを見ながら、名刺イメージ上の文字がデータ編集ウィンドウに正しく入力されているかどうかを確認します。



認識結果確認ウィンドウ

4. 名刺データに修正の必要がある場合、修正します。

データ編集ウィンドウの認識結果や、読み取った名刺のイメージを修正します。誤って文字が認識された場合は、名刺データを再認識させるか、データ編集ウィンドウで項目ごとに直接入力します。「住所一覧」機能などを使った修正もできます。名刺のイメージが傾いてしまったものや、表裏を誤って読み取ってしまったものを修正できます。



リボンの「認識」タブの「認識」ボタンをクリックすると、読み取った名刺イメージから文字を再認識できます。

または、データ編集ウィンドウの各入力欄を直接入力して修正します。

基本	拡張	受取情報	その他
氏名	日本 一郎	氏名→カナ...	
氏名フリガナ	ニッポン イチロウ	カナ→氏名...	
会社	日本ABCD株式会社		
会社フリガナ	ニッポンABCデベロップメント	<< カナ変換	
部署	東京本社第三営業部		
役職	部長		
〒	212-0013	〒→住所...	住所→〒...
住所	神奈川県川崎市幸区堀川町000番地		
電話	(044)123-9876		
電話2			
FAX	(044)123-9875		
携帯電話			

5. 名刺データを確定します。

データ編集ウィンドウ下方にある行先指定操作バーの「確定」ボタンをクリックすると、名刺データが確定されるため、データ編集ウィンドウの内容を誤って修正するのを防げます。確定した名刺データを修正する場合は、「確定」ボタンをクリックして確定状態を解除してください。

名刺データを確定しなくても、名刺データは保存されます。



に変わります。

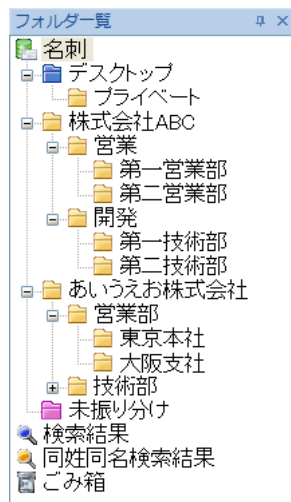


また、データ一覧ウィンドウでも確定しているかどうかが表示されます。確定した名刺データに確定マークが表示されます。

6. 名刺データを管理します。

フォルダー一覧ウィンドウ内でフォルダーを作成し、読み取った名刺データを、データ一覧ウィンドウからドラッグ&ドロップして振り分けます。用途に応じてフォルダーを作成し、振り分けると便利です。

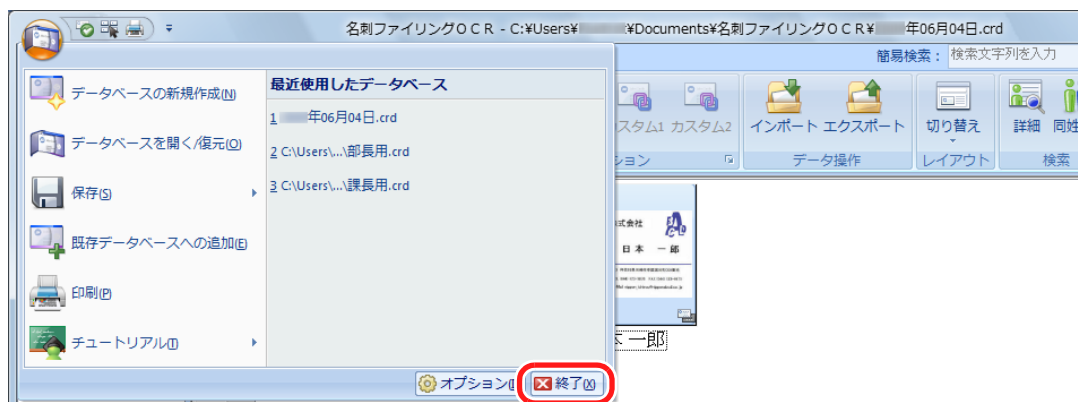
フォルダーは名刺データベースごとに作成できます。また、名刺データは名刺データベース間、フォルダー間で移動できます。



作成したフォルダーの名前を変更したり、フォルダーごと移動・削除したりできます。

7. 名刺ファイリング OCR を終了します。

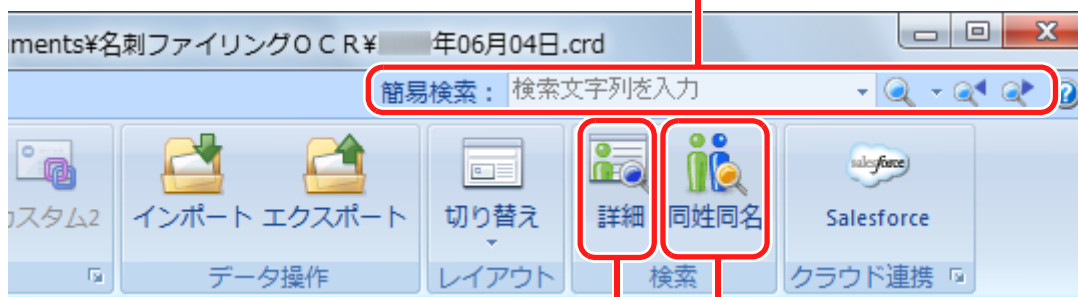
アプリケーションボタンをクリックして表示されるメニューの [終了] ボタンをクリックして、名刺ファイリング OCR を終了します。次回起動時は、終了時に使用していた名刺データベースが起動されます。







名刺データの検索

名前や会社名などから名刺データを検索できます。また、名刺ファイリング OCR Viewer から名刺データを検索できます。

簡易検索（簡易検索ツールバー）



詳細検索 同姓同名検索

検索の種類	検索方法	検索結果
詳細検索 	「ホーム」タブの「詳細」ボタンをクリックして表示される「名刺情報検索」画面に、「氏名」、「会社名」、「部署名」などを入力して、名刺データを検索します。	<ul style="list-style-type: none"> 検索条件に一致した名刺データのショートカットが、フォルダー一覧ウィンドウ内の「検索結果」フォルダー内に作成されます。 データ一覧ウィンドウに「検索結果」フォルダー内のショートカットが表示されます。
同姓同名検索 	「ホーム」タブの「同姓同名」ボタンをクリックして表示される「同姓同名検索」画面で検索を実行します。検索対象のフォルダーを指定した検索もできます。	<ul style="list-style-type: none"> 同姓同名の名刺データのショートカットが、フォルダー一覧ウィンドウ内の「同姓同名検索結果」フォルダー内に作成されます。 データ一覧ウィンドウに「同姓同名検索結果」フォルダー内のショートカットが表示されます。
簡易検索 	簡易検索ツールバーに「氏名」、「氏名フリガナ」、「会社名」、または「会社名フリガナ」の検索文字列を入力して、名刺データを検索します。	検索条件に一致した名刺データが、メインウィンドウに表示されます。検索条件に一致した最初の名刺データだけ選択された状態になります。ほかに検索条件に一致した名刺データがある場合、  をクリックすると、次の検索条件に一致した名刺データが選択された状態で表示されます。

■ 名刺データの活用

名刺データを利用する

「ホーム」タブの以下のボタンをクリックすることで、名刺データをいろいろなアプリケーションで利用できます。

メールを送信する
名刺データの電子メールアドレスあてにメールを送信できます。

WEBで検索する
WEB (Yahoo!) を使用して、名刺データの会社のホームページを開いたり、名刺データの郵便番号から地図や天気、会社名から会社や株価を検索したりできます。

ほかのアプリケーションと連携する
Excel、Outlook Express、筆まめなどのアプリケーションと連携して、名刺データをほかのアプリケーションで利用できます。

名刺データにファイルを添付する

名刺データに関連のあるファイルを添付できます。

エクスプローラからドラッグ & ドロップでファイルを追加するときは、名刺イメージウィンドウの「添付ファイル」タブをクリックします。

名刺データを印刷する

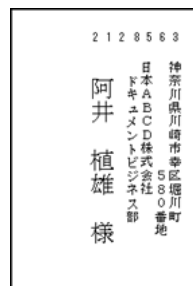
名刺データを、リスト形式やラベル形式に印刷したり、ハガキに印刷したりできます。また、名刺イメージも印刷できます。

番号	氏名	会社名	〒	住所	(住所) 電話	電子メール
1	阿井 植雄	日本ABCD株式会社	212-8569	神奈川県川崎市幸区堤川町580番地	044-541-4510	aiwa@abcd.ac.jp
2	石川 太郎	株式会社May	929-1182	石川県かほく市宇野沢ヌ98-2	076-239-1212	horo.takikawa@may.com
3	高木 一博	株式会社May	210	神奈川県川崎市川崎区藤横3-8-5		
4	矢井 由広	日本ABCD株式会社	212-8569	神奈川県川崎市幸区堤川町580番地	044-541-4510	

リスト形式

212-8569 神奈川県川崎市幸区堤川町580番地 日本ABCD株式会社 ドキュメントビジネス部 阿井 植雄 様	929-1182 石川県かほく市宇野沢ヌ98-2 株式会社May 高木一博 石川 太郎 様
210 神奈川県川崎市川崎区藤横3-8-5 株式会社May	212-8569 神奈川県川崎市幸区堤川町580番地 日本ABCD株式会社

ラベル形式



ハガキ形式



名刺イメージ

3.2 データベース機能の使い方

初めて名刺ファイリング OCR を起動したときに、名刺データベースが作成されます。名刺データベースには、読み取った名刺データが順次追加されます。

名刺ファイリング OCR では一度に1つだけ名刺データベースを開けます。現在開いている名刺データベースの保存先と名前が、メインウィンドウのタイトルバーに表示されます。

ここでは名刺データベースの使い方の例として、名刺データベースのバックアップ方法と、名刺データベースを別のコンピュータに移行する操作のながれを説明します。

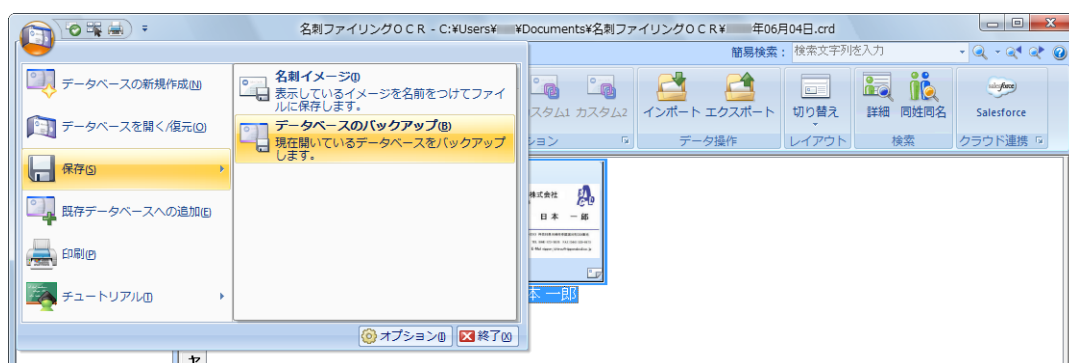
詳細な操作手順と、このほかの名刺データベースの使い方については、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

■ 名刺データベースをバックアップ（コピー）する

現在表示している名刺データベースのバックアップ（コピー）を作成できます。

バックアップファイルとして名刺データベースをコピーし、コンピュータの別のディスクやリムーバブルメディア（USB メモリや CD-R など）に保存しておくことで、名刺データベースが消失したときにバックアップファイルから名刺データベースを復旧できます。

1. アプリケーションボタン () → 「保存」 → 「データベースのバックアップ」を選択します。



⇒ 「名刺データベースのバックアップ」画面が表示されます。

2. 保存先のフォルダーと、名刺データベースの名前を指定します。

重要

- Windows 7 の場合、システムドライブ（オペレーティングシステムがインストールされているドライブ）の直下に名刺データベースを保存できません。表示されるメッセージに従って対処してください。
- バックアップの保存先には、以下のどちらかを推奨します。
 - バックアップする名刺データベースの保存先とは別のディスク
 - USB メモリなどのリムーバブルメディア

3. [保存] ボタンをクリックします。

⇒ 名刺データベースのバックアップが作成されます。

バックアップした名刺データベースを使用する場合は、アプリケーションボタンをクリックして表示されるアプリケーションメニューから、「データベースを開く / 復元」を選択して、バックアップした名刺データベースの保存先および名刺データベースの名前を指定します。

■ 名刺データベースを別のコンピュータに移行する

現在 使用しているコンピュータの名刺ファイリング OCR の名刺データベースを、別のコンピュータに移動できます。移行先のコンピュータには、名刺データベースを移行する前に名刺ファイリング OCR をインストールしておく必要があります。

新しいコンピュータを買ったとき、古いコンピュータから新しいコンピュータに名刺データベースを移行したいときなどに、以下のながれに沿って移行してください。

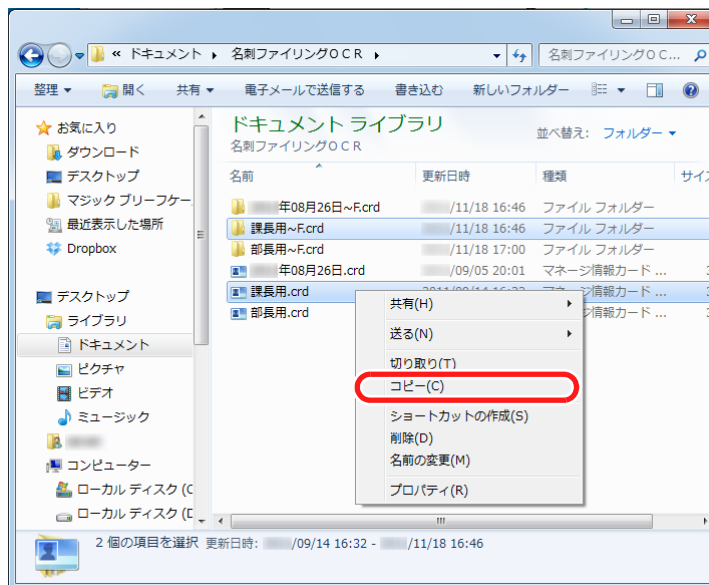
名刺データベースの移行は、別のコンピュータのフォルダーに、現在 使用しているコンピュータの名刺データベースおよび名刺データ管理フォルダーをコピーして行います。

ここでは、コンピュータ A の名刺データベースをコンピュータ B に移行する場合の例で説明します。

名刺データベースを別のコンピュータで使用する方法は、以下の 2 通りあります。

エクスプローラで名刺データベースをコピーして移行する

1. コンピュータ A の名刺データベースと名刺データ管理フォルダーをコピーします。



ヒント

- 現在表示している名刺データベースの保存先は、タイトルバーに表示されています。
 - 初回起動時、自動的に作成される名刺データベースおよび名刺データ管理フォルダーの名前と、これらを格納した「名刺ファイリング OCR」フォルダーの保存先は、デフォルトでは以下のようになっています。
 - 保存先フォルダー
 - Windows 7、Windows Vista の場合：
 - ドライブ名 (C など) : ¥ Users ¥ (ユーザー名) ¥ Documents
 - Windows XP、Windows 2000 の場合：
 - ドライブ名 (C など) : ¥ Documents and Settings ¥ (ユーザー名) ¥ My Documents
 - 名刺データベース名、名刺データ管理フォルダー名
 - 名刺データベース名：初回起動時の年月日 .crd
 - 名刺データ管理フォルダー名：初回起動時の年月日 ~F.crd
- 例：2012年1月23日に名刺ファイリング OCR を初めて起動した場合、以下の名刺データベースと名刺データ管理フォルダーが作成されます
- 名刺データベース名：2012年01月23日 .crd
 - 名刺データ管理フォルダー名：2012年01月23日 ~F.crd

2. コピーした名刺データベース、および名刺データ管理フォルダーを、コンピュータ B の任意のフォルダーに貼り付けます。

コンピュータ B の任意のフォルダーに貼り付けるには、以下の方法があります。

- 名刺データベースをUSBメモリやCD-Rにいったん保存して、コンピュータ B に貼り付ける
- 共有フォルダーを作成して、コンピュータ B に貼り付ける

ヒント

コンピュータ B に、名刺データベースおよび名刺データ管理フォルダーをコピーする場合、格納先がわかりやすいように「Documents」フォルダー（Windows XP、Windows 2000 の場合は、「My Documents」フォルダー）に「名刺ファイリング OCR」フォルダーを作成し、そのフォルダー内にコピーすることを推奨します。

3. コンピュータ B で、コピーした名刺データベースを開いて確認します。

アプリケーションボタンをクリックして表示されるアプリケーションメニューから、「データベースを開く / 復元」を選択して、コピーした名刺データベースの保存先および名刺データベース名（例：課長用 .crd）を指定し、[開く] ボタンをクリックします。

⇒ 指定した名刺データベースが開きます。

名刺データベースのバックアップ（コピー）を共有フォルダーに作成して移行する

1. エクスプローラで、任意の場所に共有フォルダーを作成します。

2. コンピュータ A で、手順 1. で作成した共有フォルダーを保存先に指定して、名刺データベースのバックアップを作成します。

⇒ 指定した共有フォルダーに名刺データベースのバックアップが作成されます。

ヒント

バックアップの作成方法については、「名刺データベースをバックアップ（コピー）する」（45 ページ）を参照してください。

3. コンピュータ B から、手順 1. で作成した共有フォルダーを開きます。
4. 共有フォルダー内に保存されている、手順 2. で作成した名刺データベースのバックアップをコピーし、コンピュータ B の任意のフォルダーに貼り付けます。

ヒント

コンピュータ B に、名刺データベースをコピーする場合、格納先がわかりやすいように「Documents」フォルダー（Windows XP、Windows 2000 の場合は、「My Documents」フォルダー）に「名刺ファイリング OCR」フォルダーを作成し、そのフォルダー内にコピーすることを推奨します。

5. コンピュータ B で、コピーした名刺データベースを開いて確認します。

アプリケーションボタンをクリックして表示されるアプリケーションメニューから、「データベースを開く / 復元」を選択して、コピーした名刺データベースの保存先および名刺データベース名（例：課長用 .crd）を指定し、[開く] ボタンをクリックします。

⇒ 指定した名刺データベースが開きます。

第4章



機能一覧

この章では、名刺ファイリング OCR の機能について記載します。
それぞれの機能の使い方については、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

4.1	基本機能	51
4.2	活用機能	54
4.3	データベース機能	57

4.1 基本機能

名刺ファイリング OCR の基本的な機能について、以下に記載します。

ヒント

以下の記載は、名刺ファイリング OCR のヘルプの「操作目次「基本編」と同一です。各機能の詳細および操作については、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

■ 名刺ファイリング OCR の起動 / 終了

- 名刺ファイリング OCR の起動と終了
- メインウィンドウのレイアウトを変更する
- 古い形式の名刺データベースをバージョンアップする

■ 名刺の読み取り / 文字の認識

- 名刺を読み取る
 - 読み取り時の動作を設定する
 - スキャナ（ドライバ）を選択する
 - 使用するスキャナのタイプを選択する
 - 解像度を設定する
 - スキャナドライバ画面（TWAIN ドライバの画面）を表示する
 - スキャナの設定における注意を表示する
 - 名刺データの登録先フォルダーを選択する
 - ScanSnap から名刺を読み取る
 - フラットベッドスキャナから名刺を読み取る
 - 片面 ADF（自動給紙装置）スキャナから名刺を読み取る
 - 両面 ADF（自動給紙装置）スキャナから名刺を読み取る
 - 名刺データを置き換える
 - ファイルから名刺のイメージを読み込む
- 名刺データを確認する
- 名刺の文字を手動で認識する
 - 名刺の文字を認識する
 - 名刺の文字を項目単位で認識する
 - 名刺の QR コードを認識する
 - 認識していない名刺を連続で認識する
- 名刺の文字を認識するときの動作を設定する
 - 名刺を読み込んだ直後に認識させる

- 認識する項目を限定する
- 認識言語を変更する
- 認識対象文字一覧
- 認識の精度を上げる
 - ユーザー文字パターンを登録する
 - ユーザー文字パターンを保守する（抹消する、参照する）
 - ユーザー文字パターンを使用する
 - 名刺データベースの確定データを使用する
 - 会社名辞書を使用する
 - 名刺に印刷された QR コードのデータを使用する
- 認識結果の表記形式を統一する
 - 住所の表記を統一する
 - 郵便番号を 7 桁に統一する
 - 電話番号の表記を統一する

■ 名刺データの編集

- 名刺データを編集する
 - 認識結果を修正する
 - 文字を直接入力する
 - テキストのコピー / 切り取り / 貼り付けをする
 - 氏名フリガナをもとに氏名を、氏名をもとに氏名フリガナを入力する
 - 住所をもとに郵便番号を、郵便番号をもとに住所を入力する
 - [カナ変換] ボタンで会社フリガナを入力する
 - 項目を一括して置き換える
 - 認識結果確認ウィンドウの候補文字から文字を選択する
 - 名刺データに追加情報を登録する
 - 認識結果を消去する
 - 表記形式を変更する
 - 郵便番号を 7 桁に変更する
 - 住所の表記を変更する
 - 電話番号の表記を変更する
- 名刺イメージを編集する
 - イメージを保存する
 - イメージを圧縮する
 - イメージをコピーする
 - イメージを削除する
 - イメージの表面と裏面を入れ替える
 - イメージ（片面）を使って両面名刺を作成する
 - イメージを鏡像反転する

- イメージを回転する
- イメージの傾きを補正する
- 名刺イメージの表示を変更する
 - イメージ表示の大きさを変更する
 - イメージの表示面を切り替える
- 名刺データ / 名刺イメージを確定する

■ 名刺データの検索

- 簡易検索ツールバーで検索する
- 検索条件を指定して検索する（詳細検索）
- 同姓同名の名刺データを検索する
- 名刺データの検索結果を削除する
- 名刺ファイリング OCR Viewer から検索する
 - ほかのアプリケーションのテキスト情報を検索キーワードとして利用する
 - 検索キーワードを入力して検索する

■ 名刺データの整理

- 名刺データを選択する
- 名刺データを新規に作成する
- 名刺データをコピーする
- 名刺データを結合する
- 結合した名刺データを分ける
- 名刺データの並び順を変更する
- 表示する名刺データを絞り込む
- 名刺データを削除する
- 過去の名刺データを表示する
- 名刺データをフォルダーで整理する
 - フォルダーを新規に作成する
 - 名刺データをほかのフォルダーに移動する
 - フォルダーを削除する
 - フォルダー名を変更する
 - フォルダーを移動する

4.2 活用機能

名刺ファイリング OCR 機能そのものをより有効に活用するための機能を、以下に記載します。

ヒント

以下の記載は、名刺ファイリング OCR のヘルプの「操作目次「活用編」と同一です。各機能の詳細および操作については、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

■ 名刺データの利用

- 名刺データのメールアドレスをメールのあて先にする
- 名刺データから情報を検索する（WEB 検索）
- 名刺データから QR コードを作成する
 - － QR コードを作成する
 - － 名刺ファイリング OCR Viewer で QR コードを作成する
- ほかのアプリケーションと連携する
 - － Excel と連携する
 - 名刺データを新規に Excel ファイルに出力する
 - 既存の Excel ファイルに名刺データを追加する（設定条件を新規に作成する）
 - 既存の Excel ファイルに名刺データを追加する
 - 既存の Excel ファイルに出力する項目を設定して出力する
 - 既存の Excel ファイル内の同姓同名のデータを名刺データに置き換える（設定条件を新規に作成する）
 - 既存の Excel ファイル内の同姓同名のデータを名刺データに置き換える
 - － アドレス帳と連携する
 - Outlook Express / Windows メールと連携する
 - Microsoft Outlook と連携する
 - Microsoft InterConnect と連携する
 - Outlook とシンクロナイズする
 - － 連携するアプリケーションを設定する（カスタムボタンの設定）
 - 連携するアプリケーションを設定する
 - － アプリケーションと連携する（カスタムボタン）
 - － 「筆まめ」と連携する

- クラウド連携する
 - Salesforce に連携する項目を確認する
 - Salesforce に名刺データを登録する
- インポート / エクスポートする
 - ほかのアプリケーションのデータを取り込む（インポート）
 - 名刺データを出力する（エクスポート）

■ 名刺データへのファイル添付

- ファイルを添付する
- 添付したファイルを表示 / 修正する
- 添付したファイルをコピーする
- 添付したファイルを削除する

■ 名刺データの印刷

- 印刷方法を設定する
 - 印刷する名刺データの項目を設定する
 - 印刷するフォントを設定する
 - プリンターを設定する
 - 項目の行の縦幅 / 横幅を調整する
 - 印刷位置を調整する
 - 差出人を設定する
- 名刺データの印刷形式
- 名刺データを印刷する

■ 動作環境 / オプションの設定

- 名刺ファイリング OCR の動作環境を設定する
- 名刺ファイリング OCR のオプションを設定する

■ 画面表示の変更

- データ一覧ウィンドウの表示を切り替える
- サブウィンドウの表示 / 非表示を切り替える
- サブウィンドウの表示位置を変更する
- サブウィンドウのレイアウトを初期配置に戻す
- サブウィンドウのレイアウトを保存する
- サブウィンドウのレイアウトを復元する
- リボンを最小化する
- ステータスバーの表示 / 非表示を切り替える
- 詳細表示する項目を設定する
 - 詳細表示する項目を選択 / 解除する
 - 詳細表示する項目の順序を変更する
- 認識結果確認ウィンドウの表示を変更する
 - 認識結果確認ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える
 - 認識結果確認ウィンドウに候補文字を表示する
 - 認識結果確認ウィンドウを横長に表示する
 - 認識結果確認ウィンドウの表示位置を指定する

■ オンラインアップデート

- オンラインアップデートする

4.3 データベース機能

名刺ファイリング OCR で使用する名刺データベースの機能を、以下に記載します。

ヒント

以下の記載は、名刺ファイリング OCR のヘルプの「操作目次「データベース編」と同一です。各機能の詳細および操作については、名刺ファイリング OCR のヘルプを参照してください。

■ 名刺データベースの操作

- 名刺データベースにパスワードを設定する
- 名刺データベースを開く
- 名刺データベースを新規に作成する
- 名刺データベースをバックアップ（コピー）する
- 名刺データベースを削除する
- 名刺データベースをネットワークで共有する
- 既存の名刺データベースに追加する
- 名刺データベースを別のコンピュータで使用する

第 5 章



ユーザー権限

この章では、名刺ファイリング OCR を使用する場合のユーザー権限について説明します。

- Windows 7、Windows Vista の場合
標準ユーザー以上の権限でログオンして使用してください。
- Windows XP Home Edition の場合
コンピュータの管理者の権限でログオンして使用してください。
- Windows XP Professional、Windows 2000 の場合
標準ユーザー（Power Users グループ）以上の権限でログオンして使用してください。

付録 A

ヘルプの起動方法

名刺ファイリング OCR のヘルプの起動方法は 4 つあります。

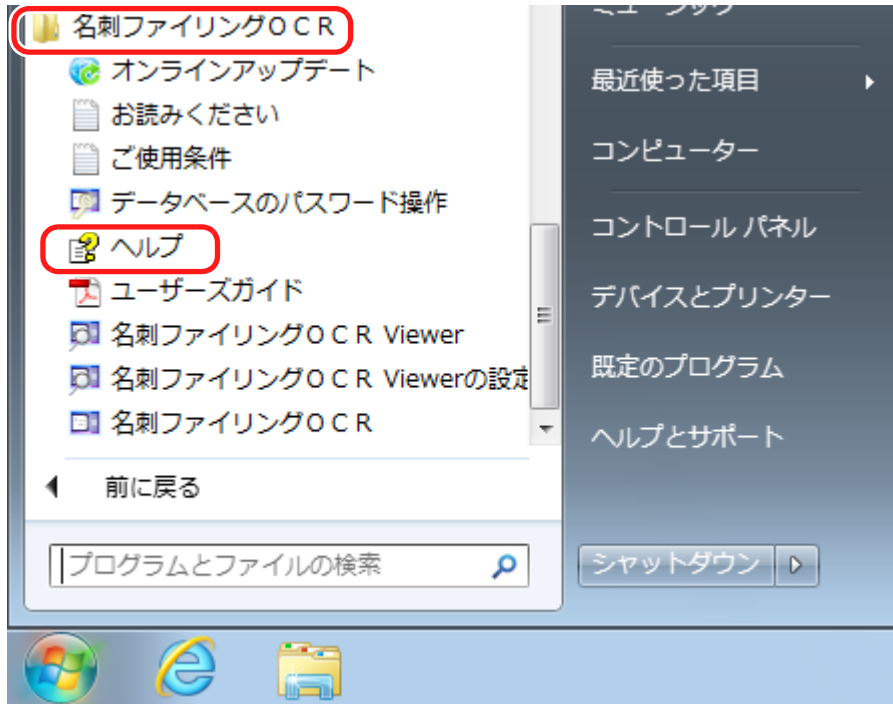
■ メインウィンドウからヘルプを起動する

名刺ファイリング OCR の使用中にヘルプを起動するには、キーボードの「F1」キーを押すか、簡易検索ツールバーのとなりにあるヘルプボタン (?) をクリックします。



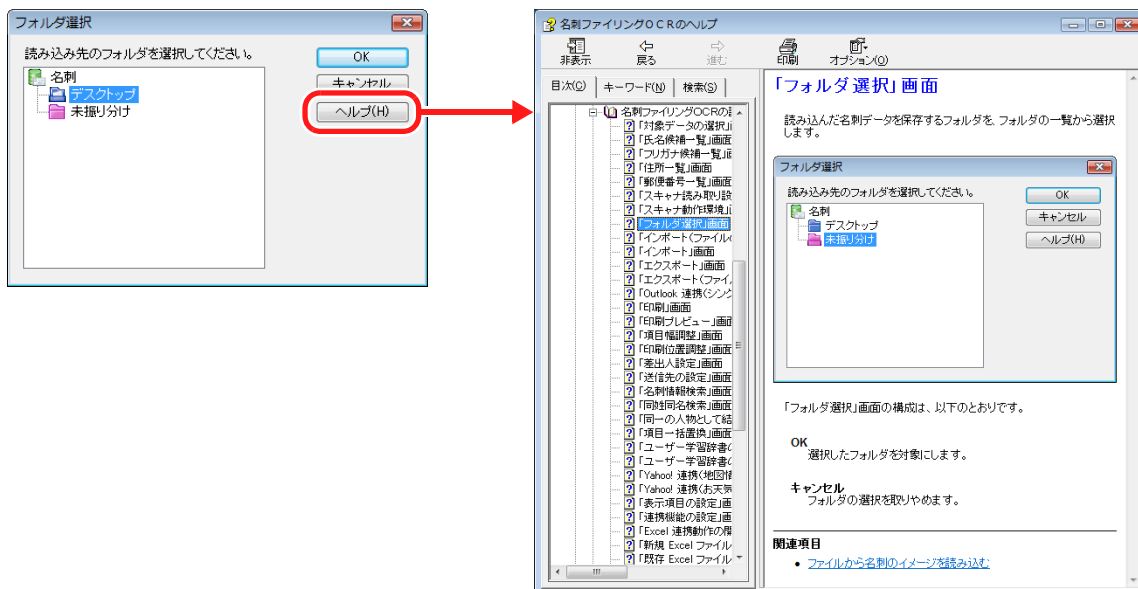
■ スタートボタンからヘルプを起動する

名刺ファイリング OCR を使用していないときにヘルプを起動するには、「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「名刺ファイリング OCR」→「ヘルプ」を選択します。



■ 画面上の [ヘルプ] ボタンでヘルプを起動する

名刺ファイリング OCR の使用中に表示される画面に [ヘルプ] ボタンがあるときは、クリックしてヘルプを起動できます。この場合は、表示中の画面について説明するトピックが表示されます。キーボードの「F1」キーを押しても表示できます。



■ 名刺ファイリング OCR Viewer 画面から起動する

名刺ファイリング OCR Viewer の使用中にヘルプを起動するには、キーボードの「F1」キーを押します。

付録 B



インストール / アンインストール

この付録では、名刺ファイリング OCR のインストールおよびアンインストール方法について説明します。

■ インストール

インストールは、ScanSnap に添付の Setup DVD-ROM から行います。

インストール時に「機能の選択」画面で「名刺ファイリング OCR」をチェックしてください。


詳細については、使用している ScanSnap のオペレーターガイドの「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

■ アンインストール

アンインストールは、コントロールパネルの「プログラムと機能」から行います。

詳細については、使用している ScanSnap のオペレーターガイドの「付録 ソフトウェアのアンインストール」を参照してください。

索引



O		な行	
OCR	9	認識結果	9
		「認識」タブ (リボン)	27
あ行		は行	
アンインストール	62	「表示」タブ (リボン)	33
「イメージ操作」タブ (リボン)	31	表示ツールバー	
インストール	62	(名刺ファイリング OCR Viewer 画面) ..	35
か行		ヘルプ	59
活用機能	43, 54	「ホーム」タブ (リボン)	23
起動 (名刺ファイリング OCR)	13	ま行	
起動 (名刺ファイリング OCR Viewer) ..	15	名刺イメージ表示ビュー	
基本機能	51	(名刺ファイリング OCR Viewer 画面) ..	36
検索情報ツールバー		名刺データ	9
(名刺ファイリング OCR Viewer 画面) ..	36	名刺データベース	9
検索名刺一覧表示ビュー		名刺のイメージ	9
(名刺ファイリング OCR Viewer 画面) ..	36	名刺ファイリング OCR について	8
さ行		メインウィンドウ	18
終了 (名刺ファイリング OCR)	14	や行	
終了 (名刺ファイリング OCR Viewer) ..	16	ユーザー権限	58
操作のながれ	38	ら行	
た行		リボン	19, 22
データベース機能	57		
「データ編集」タブ (リボン)	28		
添付ファイル表示ビュー			
(名刺ファイリング OCR Viewer 画面) ..	36		
動作環境	11		
特長	10		

名刺ファイリング OCR

ユーザーズガイド

P2WW-2663-02Z0

発行日 2013 年 2 月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。